

# どの子ども豊かに暮らせる支援を



丸山 千代子 議員



## きめ細かな施策を推進

**答** 健康福祉部長 ▼ 子どもの居場所とな

**問** 子ども食堂の開設を。

**答** 教育長 ▼ なるべく早く、探していきたい。

**答** 新しい専用スペースが必要であると認識している。

**答** 不登校対策としてピッコロ（教育相談室）の拡充で居場所づくりの整備を。

**問** 教育部長 ▼ 前向きに配置に向けて検討していきたい。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。

**問** 学校における悩み、問題などに対応するため、福祉と教育をつなぐスワールソーシャルワーカーの配置を。



校外学習で議会を学ぶ荻谷小学校6年生

**問** どの子ども豊かに暮らせるまちにしたい。

**答** 学習支援事業で、児童生徒の無料塾の取り組みを。

**問** 子ども食堂と同時

**答** 子ども食堂と同時に利用する考えもある。

**問** どの子ども豊かに暮らせるまちにしたい。

**問** どの子ども豊かに暮らせるまちにしたい。

**答** 子どもの豊かに暮らせるまちにしたい。

**問** どの子ども豊かに暮らせるまちにしたい。

**答** 子どもの豊かに暮らせるまちにしたい。

**問** どの子ども豊かに暮らせるまちにしたい。

### 特別養護老人ホームの増設を

### 地域密着型介護福祉施設を明記

### 第8期介護保険事業計画の策定・介護サービス見込み量の設定が行われている。介護サービスの充実を問う。

### 第7期の総合事業の緩和型サービスへの移行の結果は。

### 健康福祉部長 ▼ アンケート結果では、6割強の家族が満足と回答している。

### 国は要介護者も介護保険の対象から外し、総合事業に移行させようとしている。専門的サービスから外しているのか。

### 必要な方に、必要なサービスを、もれなく提供できるように考える。

**問** 特別養護老人ホームの増設を第8期計画に盛り込み、待機者の解消を。

**答** 特養ではなく、地域密着型介護福祉施設の設定を図るとした内容を明記したい。

**問** 介護保険料は、現行の11段階を多段階に設定し、介護保険給付費準備基金を繰り入れて据え置く考えは。

**答** 13段階で、介護保険料を、なるべく据え置く考え。基金の3分の1を活用して、保険料の算定をしていきたい。

**問** 国は要介護者も介護保険の対象から外し、総合事業に移行させようとしている。専門的サービスから外しているのか。

**答** 必要な方に、必要なサービスを、もれなく提供できるように考える。



田境毅 議員

# デマンド交通システムの活用を

## 利便性の向上を図りたい



すべての町民が自由に移動できるしくみを提供することが事業の本質。

**問** 豊坂学区での実績の分析結果と、具体的な試験計画などは。

**答** 企画部長 ▼ 予約は2か月で延べ90人。停留所位置や、年齢制限などが課題である。

**問** えこたんバス、藤田乗合直行タクシー、チョイソコこうた、公共交通の棲み分けなどは。

**答** えこたんバスを基幹とし、空白地域を、チョイソコこうたでカバーしていく。

**問** 公共交通の他市との広域連携などの考えは。

**答** 他市との調整は難しいが、研究する。試験運用期間で、有益なデータを最大限取得する具体的な試験計画立案を。



令和2年10月1日 チョイソコこうたの出発式

**問** 先行自治体との情報交換を密にし、運用したい。

**答** 利用の制限や制約を極力なくし、デマンド交通システムの活用を。

**問** 名古屋大学とも連携し、利便性の向上を図りたい。

**答** 名古屋大学とも連携し、利便性の向上を図りたい。

デジタル化にこだわった推進を  
実行計画に合わせ  
せていく

職員の働き方を含めた  
行政運営の土台となる  
ものであり、あるべき

作業報酬下限額の定めを  
公契約条例制定  
に向けて対応

姿にこだわったしくみ構築を目指すべき。

**問** デジタル化にこだわった推進を。

**答** 企画部長 ▼ デジタル・ガバメント実行計画に合わせていく。

**問** システム再構築の必要性および具体的な計画や、国・県との連携および進捗などは。

**答** 国の方針が確定次第、様々な取り組みをしていく。

**問** 防疫体制、リモートワークや業務エリア少人数化など、庁舎全体の具体的計画は。

**答** 総務部長 ▼ 職員の半数を分散勤務とし、在宅勤務も今後検討。

コロナ禍による雇用不安は大きくなっている。働く人の処遇を視野に入れた公契約条例の意義は大きく、働く人が安心できる内容でなければならぬ。

**問** 労働者に支払われるべき作業報酬下限額を定める必要は。

**答** 企画部長 ▼ 公契約条例制定に向け、対応していく。

**問** 到達目標および推進計画は。

**答** 令和4年度を達成目標とし、素案作成、パブリックコメントを経て進めていく。